

第10回 NEXT 長崎ミーティング in 県央 の実施結果

1. 日 時：令和5年11月17日（金）19：00～21：00
2. 場 所：coto（大村市本町）
3. テーマ：「県央地域の魅力や自慢、課題について語ろう
～あなたの地元愛を教えてください～」
4. 方 法：対面及びオンライン（Webex）を併用
5. 参加者：12名（対面10名、オンライン2名）
 - ・新規メンバー：4名（社会人3名、学生1名）
 - ・現メンバー：4名（社会人4名）
 - ・行政メンバー：3名
 - ・サポートメンバー：1名

6. 主な意見

【県央地域の魅力や課題について】

- ・大村市の地勢的な魅力として、空港、バス、新幹線、電車、高速ICと主要な交通系統がすべて整っている。ここまで主要な交通系統が揃っているのは全国の都市の中でも数が少ない。
- ・県央地区というだけあって、県内でどこかに行こうとなったとき、北に行くか南に行くか、どちらも選択肢に挙がる、非常に利便性の高い地域。道も広くて、どこかからのスーパーマーケットには歩いて行ける環境があり、老後も安心して暮らせる。
- ・大村市の押しポイントとして、一番に利便性の高さが挙がる。便利なのにも関わらず、県内でもそんなに地価が上がりきっていないところや、子育てがしやすいように支援などがあったり、そういったイメージが県内の他市の人にもしっかり持たれているところも大村が選ばれる要因。
- ・子育て世代と話をすると、外で遊んだり楽しんだりする場所に対して、長崎は室内で遊んだり楽しんだりする場所が少ないよね、という意見がよく出る。
- ・人口減少で人が少なくなっていく中でも、長崎駅の再開発など、街の魅力を増やして課題の解決を図ろうとしているところがすごく誇りに感じる。地方創生における課題の解決の糸口を探ろうとする姿勢が大事。
- ・地域の魅力を高めていく場合には、Z世代の人を地域連携の取組などに巻き込んでいけると活気が出やすくなる。
- ・長崎駅周辺の変化も含めて、長崎ではどんどん新しい変化が始まっている。自分も大学の時に英語を学び留学をした経験から長崎がもっと県外・海外の方から行きたいと思ってもらえるように積極的にボランティアや仕事を通して発信してみたり、取り組みたい。
- ・県央地域は県内の方にとっても他県の方にとってもうらやましがられる要素が満載であるため、県外の方々にももっとアピールしていけば長崎の活性化

につながっていくはず。県外の人にとって玄関口となる大村市は対外的にアピールするポテンシャルが特に高い。

- 県央地域や大村市だけに人が集まるのではなく、そこから県全体にも人が集まる流れを波及させていけると良い。
- 今はインターネットが主な情報源の時代。地方に移住してきた人でも地元のインターネット掲示板などを通じて人や物に不自由しない暮らしが出来る。そうすると、人や物だけじゃない地域の利便性、特に交通手段などは移住・定住の大きな決め手になる。
- 大村、諫早はベッドタウンのイメージも持たれている。「何があるんだっけ？」となりやすい一面もあるので、潜在的な観光資源を見つけて発信できるとよい。
- 一人一人が意識的に地域の魅力を「言語化」して人に伝える機会を持つと、県外の方々へも魅力が伝わりやすくなるはず。特に、一度県外を経験した方々などは長崎の「ホーム感」がどこから来ているのかや、長崎の魅力を改めて感じた点などを「言語化」して他の人に伝えてみるとよい。

【当ミーティングについて】

- これまでと今回も含めて NEXT 長崎ミーティングがみんなのつながりの場の創出となっており、ここでつながったみんなからたくさんの刺激を受けている。
- イベントの際などに、NEXT でのつながりを通じて県内各地でバラバラに行われているものを連携できるといいのでは。
- 今回の NEXT は、県央地域にゆかりのある方々の中でも、様々な背景を持たれた方が多く、色々な角度からの意見交換が出来たことは良かった。

7. その他

- 次回（第11回）は今年度中に開催予定。
- 開催方法等については、これまでのミーティングの内容を踏まえて検討する。